

衰

スィ
おとろえる

10画
ナ 市 市 市 衰 衰 衰

【なりたち】萱(ゆ)や菅(け)の葉で作った蓑(み)の形をかたどった蓑と衣との会意字。「蓑」の本字。老いて生活力の弱くなった者は、これを衣服の代用に着た。「老いて衰える」の意味に用いられ、蓑はサ(く)きかんむり)が加えられた。



▼衰える。
老衰：老いて衰えること。
盛衰：盛んになることと衰えること。例 栄枯盛衰
衰弱：衰えて体力(勢力)が弱ること。

衰微：衰えて勢力が小さくなること。用 文化が衰微する。
衰退：衰えて元気が無くなること。「退」は退歩すること。
衰運：衰えていく運命。次第に衰えていく傾向。
衰勢：勢いが衰えること。衰える傾向。また、衰えた勢い。
衰亡：勢いが衰え亡びること。
よみかた 衰減

褒

おん
ホウ
ほめる

15画
不 宀 宀 禿 褒 褒

【なりたち】子供を保護する形を表し、保護する意味の(保)と衣との会意形声字。衣を保護するように衣の上に着る「上張り」を表した字。臣下に褒美としてこれを与えるところから「褒める」意味になる。



▼褒美。褒める。
褒賞：褒め賞すること。金品を与えて褒めること。また、その金品。
褒美：その人の美を褒める意味。褒めて物を与えたことから、褒めて与える金品をいう。
褒詞：褒め詞(正)。褒めたたえる文章。
褒章：社会的功労のあった者に対して、国がその功をたたえて与える記章。紅綬(正)・緑綬(副)・藍綬(正)・紺綬(正)・黄綬(副)・紫綬(正)の六褒章がある。

衷

チュウ
はねる

9画
冫 冫 冫 冫 衷 衷

【なりたち】中の意味の中と衣との会意形声字。衣よりも中に着る「肌着」を表した字。転じて、「心の中・真心・誠」の意味に用いられる。また、単に「中」と同じ意味にも用いられる。



▼肌着。下着。
心の中。真心。
苦衷：苦しい心の中。用 例 苦衷をお察し願います。
衷心：心の中。真心。
衷情：心の中。真情。

▼中。
折衷：二つの物の中を取るの意味で、両方の良いところを取り、程良く調和させること。用 例 和洋折衷の建物。

襲

おそ
シユウ
おそ

22画
音 音 龍 龍 襲 襲

【なりたち】本字は襲。龍は竜の旧字体。二竜重なり飛ぶことを表した龍(龍)と、衣との会意形声字。貴人が豪華な衣装を重ね着することを表した字。着た上に続けて着るので「続ける。継ぐ」意味。下の着物に侵すので「襲う」意味。



▼襲う(侵す)。
襲撃：敵に襲いかかること。
急襲：不意に襲撃すること。
奇襲：相手の意表をついた攻撃。不意討ち。
重ね着。重ねる。
▼続ける。
踏襲：今までのやり方を続けてそのまますること。
因襲：昔から続けて来た仕来り。用 例 因襲の打破。
▼継ぐ。受け継ぐ。
襲名：親や師匠の名を継ぐこと。

世襲：その家の格式・仕事・財産などを子から孫へと代代受け継いでいくこと。
よみかた 襲来・逆襲・空襲・襲

褒 襲

衰 衷